

秋田県子ども読書センターでは、団体向けの資料貸出を始めました



秋田県子ども読書支援センターでは、22年度末より団体向けに資料の貸出を開始しました。利用できる団体・機関は、県内の読書ボランティア団体及び学校図書館、保育園、幼稚園等です。貸出資料は、紙芝居、大型絵本、テーマ別のセット資料になります。セット資料は85タイトルあり、未就学児、小学校低学年、小学校高学年、中学校向けに分かれていますので、ブックトークや読み聞かせ、図書室の展示、学習の副教材等、幅広くご利用いただけます。詳しくは秋田県子ども読書支援センターホームページ (<http://www.apl.pref.akita.jp/kodomo/index.html>) をご覧ください。

これからの講座・セミナー等の予定 (入場無料 申込みは図書館まで)

■講座「40代・50代からのマネープラン～豊かな老後を過ごすために～」

秋田県立図書館・秋田県金融広報委員会共催

○第1回 10月8日(土) 13:30～15:00

○第2回 10月22日(土) 13:30～15:00

講師：五井優子(秋田県金融広報委員会金融広報アドバイザー)

会場：秋田県立図書館 多目的ホール 定員50名

■秋田をまなぶ講座シリーズⅢ 秋田県立図書館・放送大学秋田学習センター共催

○第1回 10月9日(日) 13:30～15:00

「秋田の本のありかを見つけない『秋田BookBoat2011』を開催して」

講師：小原勇人、伊藤幹子、渡部裕美子、柴田明佳(「秋田BookBoat」実行委員会)

会場：秋田県立図書館 多目的ホール 定員50名

○第4回 12月10日(土) 13:30～15:30

「花を求めて一歌・写真・詩の競演」

講師：土崎宏人(二期会会員)、小松ひとみ(写真家)、佐々木久春(秋田大学名誉教授)

ピアノ：千葉多恵子

会場：秋田県生涯学習センター 講堂 定員100名

■秋田ふるさとセミナー

○第3回 10月29日(土) 13:30～15:00

「福田豊四郎一人と芸術」

講師：河野元昭(秋田県立近代美術館長・東京大学名誉教授)

会場：秋田県立図書館 多目的ホール 入場無料 定員50名

■特別展示 秋田県立近代美術館所蔵の作品を展示します。

「福田豊四郎～生命をみつめて～」 10月2日(日)～29日(土)

会場：秋田県立図書館 特別展示室

県立図書館だより 72号

発行月 平成23年9月

編集発行 秋田県立図書館

住所 〒010-0952

秋田市山王新町14-31

TEL 018-866-8400

FAX 018-866-6200

018-866-8406

パソコン用URL <http://www.apl.pref.akita.jp>

携帯用URL <http://ill.apl.pref.akita.jp/m/>

図書館全般についてE-mail apl@apl.pref.akita.jp

資料のお問い合わせE-mail jouhou@apl.pref.akita.jp



文・イラスト: Nozaki Fumitaka

■ 情報へのガイド

図書館へ本を探しに行く。目当ての本の他に、あれもこれもと予定外の読みたい本に出会ったりすると、半日は瞬く間に過ぎる。帰り道、図書館でいいなとコンサートや展覧会の後にも似た満ち足りた気分になる。

ある日、かねて関心を抱いていたテーマがあって図書館へ出向いた。レファレンス・サービス担当の職員に尋ねると一生懸命に探してくださった。書庫までも出向いて関連図書を見つけてくる。が、私の探しているものとは、今一つびつたりしない。どうやら私の聞き方にも問題があった。更にキーワードを増やして説明した。係りの人とやりとりを重ねているうちに、自分の欲しい情報を見つめなおしていることに気づく。情報を求めている私自身がテーマを絞り切れていないのだった。自分でもまた書架へ行き、連想の糸をたぐりながら周辺領域の本も含めて見直す。そうやって遂にほぼ目指す情報にたどりつくことができた。

かつて獅子ガ鼻温泉を散策したことがある。ガイドの男性は山をくまなく知っていて、今頃はあそここの木の下に何々の花が何分咲きだよということまで教えてくれ、大自然に分け入る素晴らしい道案内をしてくれた。

今、県立図書館ではいろいろな課題解決支援サービスを提供している。あふれる情報の中から自分の欲しい情報にたどりつくのはたやすいことではない。図書館員は、山の中でひとと野草の元へと手引きしてくれるガイドだ。読書の手引きだけでなく、生活、ビジネスなどの場でも図書館が問題解決の糸口となり得るということをもっと多くの人に是非知ってほしいと思う。そして、ガイドがいても、求めているものを手にする最後の判断は自分だということも忘れてはならないだろう。

秋田県立図書館協議会委員 佐々木順子



第62回北日本図書館大会秋田大会・第35回秋田県図書館大会開催

平成23年6月23日(木)、24日(金)の2日間、秋田市文化会館にて、北日本図書館大会秋田大会・秋田県図書館大会が開催されました。

本大会では、北海道と東北六県の図書館関係者が一堂に会して「図書館が進むべき道を考えるー震災復興に向けてこれから図書館がすべきことー」をテーマに、協議・検討が行われました。

北日本図書館連盟理事長 河合正月氏(北海道立図書館長)、秋田県教育委員会委員長 北林真知子氏の挨拶により大会は幕を開けました。引き続き慶應義塾大学文学部教授糸賀雅児氏による「図書館政策に見るこれからの図書館運営」と題した基調講演が行われ、図書館の課題解決支援サービスの必要性、図書館への電子書籍の導入可能性についての示唆がありました。



事例発表の様子

事例発表は、5名の方から様々な報告がありました。

岩手県立図書館からは、被災地への支援及びビジネス支援サービスについての状況、由利本荘市立図書館・県生涯学習課からは、公立図書館と学校図書館の連携事業について、そして石狩市民図書館からは、被災した宮城県名取市図書館への支援活動の状況、川崎市立図書館からは、地元Jリーグチームとのコラボレーション事業の取り組み状況の報告がありました。



被災地図書館の写真展示

翌24日は「震災復興に向けてこれから図書館がすべきこと」をテーマに、3名のパネリストによるシンポジウムが行われました。地震直後に被災地に入った小林是綱氏からは、被災地の様子が報告され、その後、震災において図書館が果たす役割、今後の取り組みについて活発な討論となりました。

最後に、日本図書館協会理事 常世田良氏より図書館界の現状について情勢報告が行われ、次期開催県である青森県の県立図書館長の挨拶をもって大会は無事終了しました。

大会では、被災地の状況の報告や写真展示等も行われ、非常時に図書館がどうあるべきか、何ができるのかについて、考えさせられる2日間となりました。

子育て応援団すこやかあきた2011

秋田県立図書館は、7月30日(土)、31日(日)に開催された『すこやかあきた2011』に昨年度に引き続き参加しました。子ども読書支援センター支援員からも協力いただき、絵本や紙芝居、大型絵本の展示や読み聞かせを行いました。

1日3回のおおなしステージを行ったほか、子ども読書支援センター支援員お薦め本のリスト、利用案内等を配布しました。

会場には2日間で33,000人の来場者があり、子どもたちは普段あまり目にすることのない大型絵本を見たり、職員に何冊も読んでもらったり、また保護者は絵本について支援員に



おおなしステージの様子



テーマ展示



閲覧室展示コーナーにおいて、月替わりで資料を紹介するテーマ展示を行っています。8月は「イクメン」をテーマに子育て中のお父さんへのおすすめ図書等、9月は「防災月間」にちなみ防災に関する図書、雑誌、パンフレット等を展示しました。10月は14日の「鉄道の日」にちなみ、「あなたは〇鉄(ナニテツ)?」～図書館資料で見る鉄道の世界」と題して関連資料やグッズの展示を行います。

県立図書館でインターンシップ

8月22日(月)から26日(金)までの5日間、秋田大学教育文化学部の3年生3名がインターンシップ実習生として、図書館・文学資料館でのカウンター業務や、資料整理の業務等を体験しました。3名とも図書館司書の資格取得を目指して勉強中です。



〇実習生の声

・根子直也さん

アルバイトで接客業を経験していましたが、図書館のカウンターではまだまだ力がないと感じました。これからの大学生活で社会人に必要なスキルを身につけていきたいと思っています。

・小山田千秋さん

カウンターでの図書館職員の丁寧な対応やレファレンスを見て、利用者が快適に図書館を使えるようにと心を配っているのがよく分かり、とても勉強になりました。5日間ありがとうございました。

・田子いづみさん

明治・大正時代の貴重な資料の整理を行いました。図書館が資料を保存し、後世に残すことの重要性を再認識しました。インターンシップで様々なことを学ばせていただきありがとうございました。

平成23年度秋田ふるさとセミナー

〇第1回 6月11日(土)

「劇作家・青江舜二郎の描いた秋田」

秋田市出身の劇作家・青江舜二郎(1904年～1983年)の長男であり映画監督の大嶋拓氏を講師として開催しました。出版社「春風社」の社長 三浦衛氏(井川町出身)による朗読も交え、青江作品に親しむひとときとなりました。

〇第2回 9月10日(土)

「秋田魁新報で見る日本国憲法成立過程と増田町生まれの憲法書」

憲法研究者の岩田行雄氏を講師として開催しました。当館所蔵の秋田魁新報の昭和21年～22年の原紙、講師所有の資料を参考にしながら、憲法成立までの経緯をたどりました。講演に先立ち、岩田氏の仲介により横手市の佐藤武司氏所有の『日本国憲法と義解』(昭和21年に増田町から発行)が当館へ寄贈され、講演とともに新聞等でも紹介されました。

